

自然と文化科 委員会別活動記録

日 時	2024年5月31日（金） 10時00分～15時00分	担当者
内 容	企画：京都山科疏水とその周辺の下見 観察：金剛山の植物観察 調査：武田尾周辺の草本調査 社会貢献：神戸市相楽園観賞、昼食会	文：曾我・中山 写真：中山勝一
備 考	参加者数54名（企画18名 観察7名 調査12名 社会貢献14名 本科講座講師・補助講師3名） 曇のち雨	

企画委員会の活動内容

6月28日実施予定の歴史文化散策（実習認定行事）「琵琶湖疏水Ⅱー山科疏水とその周辺を巡るー」の下見（歩行距離約6km）

山科の地について

山科は古代から交通の要所であり、中臣一族中臣鎌足の居宅があったことで知られる。鎌足の氏寺である山階寺は、のちに不比等により奈良に移され興福寺となる。大化の改新を共に成し遂げた天智天皇の御陵も山科にあり、山科は歴史の各時代を通じてロマンにあふれる地である。

山科疎水の概要

山科疏水は、琵琶湖疏水の流路のうち四ノ宮～日ノ岡間約4.2kmを通る部分の通称。周辺には天智天皇陵、興福寺発祥の山階寺跡、かつては山科一帯に広大な寺領を有した安祥寺、門跡寺院の毘沙門堂、通称「山科聖天」と呼ばれる双林院などが点在している。

コース

午前：京都市営地下鉄御陵駅～日本最初の鉄筋コンクリート橋～栗原邸（昭和モダニズム建築物）～天智天皇山科陵

ガイド（1名）の案内で御陵駅入り口に立つ「琵琶湖疏水煉瓦工場跡碑」を見て、疏水の道に入る。



煉瓦工場跡



日本最初の鉄筋コンクリート橋



第3トンネル入り口



天智天皇陵

午後：山階寺跡～五条別れ～安祥寺～安祥寺水路閣～瑞光院～毘沙門堂～双林院（山科聖天）～JR山科駅

天智天皇陵前にある緑の森公園で昼食。食後雨が降り出し、午後は傘の出番となる。



山階寺跡



毘沙門堂仁王門参道



毘沙門堂本殿



山科聖天不動堂

昨年9月に実施した企画委員会の自主ガイド活動「琵琶湖疏水歴史探訪」の第2弾。

各班の企画委員がコースや説明場所の確認を行い、6月28日に向けて案内書を作成し、科員の皆さんに楽しい一日を過ごしてもらえようと考えています。ぜひご参加ください。